

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-192335

(43) 公開日 平成10年(1998) 7月28日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	F I	
A 6 1 F 9/02	3 0 0	A 6 1 F 9/02	3 0 0
	3 1 0		3 1 0
	3 2 0		3 2 0
G 0 2 C 7/16		G 0 2 C 7/16	

審査請求 未請求 請求項の数6 書面 (全 4 頁)

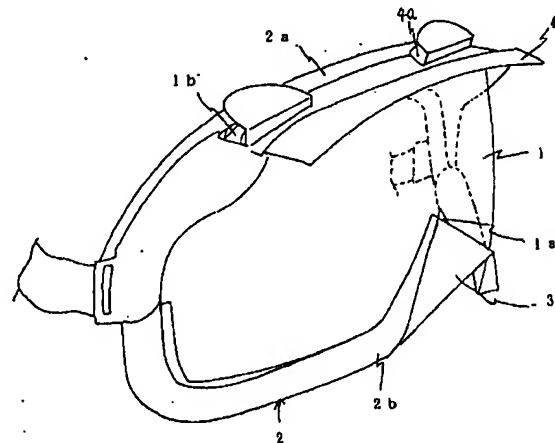
(21) 出願番号	特願平9-36837	(71) 出願人	596022008 竹原 伸晃 八尾市南木の本6-22-2-1015
(22) 出願日	平成9年(1997) 1月13日	(72) 発明者	竹原 忠泰 八尾市南木の本6-22-2-1015

(54) 【発明の名称】 ゴーグル

(57) 【要約】

【目的】 本発明は、医療用、又は各種作業用として使用するゴーグルに関するものである。

【構成】 ゴーグル本体1には顔面側縁部に通気性に富んだ装着体2が設けられ、且つ該装着体2がゴーグル本体1に対して着脱自在に設けられている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 医療用、又は各種作業で使用するゴーグルであって、該ゴーグル本体1には顔面側縁部に通気性に富んだ装着体2が設けられ、且つ該装着体2がゴーグル本体1に対して着脱自在に設けられていることを特徴とするゴーグル。

【請求項2】 前記ゴーグル本体1の鼻に装着される部分には、鼻の負担を少なくすべく鼻保護具3が設けられている請求項1記載のゴーグル。

【請求項3】 前記ゴーグル本体1の外周上部側には、装着時にゴーグル面への紫外線等の光を遮光するための遮光体4が設けられている請求項1又は2記載のゴーグル。

【請求項4】 前記ゴーグル本体1の上部側には、前記遮光体4に設けられた孔に係入することで遮光体4をゴーグル本体1に装着するための係入突片1cが設けられている請求項1乃至3何れかに記載のゴーグル。

【請求項5】 前記係入突片1cが、ゴーグル本体1の装着方向に対向して一対設けられている請求項4記載のゴーグル。

【請求項6】 前記ゴーグル本体1、又は遮光体4の上部側には野外等で使用する際、雨の顔面側への進入を阻止するためのレインパイザー5が設けられている請求項1乃至5何れかに記載のゴーグル。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、医療用、又は各種作業用として使用するゴーグルに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 一般的には、医療用に使用される顔面保護具としては呼吸器系の鼻、口部分を保護するための大型のマスクと、頭部を保護するためのヘッドカバーが使用されている。この場合、目の部分が十分に保護されていないために、例えば血液等が顔面に飛散した場合、直接顔面にかかるという欠点があった。そこで、頭部への装着具と、該装着具に回転自在に取り付けられ、顔面全体を保護するための透明のシールド面とから構成されている保護具が考えられた。この保護具は、手術中には、顔面全体を保護すべくシールド面を顔面側に回転して使用し、手術が終了した後等の場合はシールド面を頭部側に回転してして使用することで、血液等の顔面への飛散を確実に保護するものである。また、各作業、例えば建設現場等においても、呼吸器系を保護するマスクはあるものの、目の部分は特に保護することなく作業をしている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、医療用の場合において、上記のような保護具は重量があるために手術で使用する際は、邪魔に感じることが多く手術のさまたげになるという欠点があり、且つ使用後の処理もシールド

面全面を洗浄しなければならずその手間が大変であるという問題点があった。また、作業用としても、目の部分の保護がないため、特に眼鏡をかけている場合眼鏡の傷みの原因や、塵や埃の付着で視界が狭められる等の、安全性の面においても欠点があった。

【0004】 そこで、本発明は、これらの問題を解消し、使用が容易で、且つ安全性に富んだゴーグルを提供することを課題とするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】 即ち、本発明は上記課題を解決するために、請求項1は、医療用、又は各種作業で使用するゴーグルであって、該ゴーグル本体1には顔面側縁部に通気性に富んだ装着体2が設けられ、且つ該装着体2がゴーグル本体1に対して着脱自在に設けられていることを特徴とするものである。

【0006】 また、請求項2は、ゴーグル本体1の鼻に装着される部分には、鼻に負担を少なくすべく鼻保護具3が設けられていることにある。

【0007】 また、請求項3は、ゴーグル本体1の外周上部側には、装着時にゴーグル面への紫外線等の光を遮光するための遮光体4が設けられていることにある。

【0008】 さらに、請求項4は、ゴーグル本体1の上部側には、前記遮光体4に設けられた孔に係入することで遮光体4をゴーグル本体1に装着するための係入突片1cが設けられていることにある。

【0009】 また、請求項5は、係入突片1cが、ゴーグル本体1の装着方向に対向して一対設けられていることにあり、そして、請求項6は、ゴーグル本体1、又は遮光体4の上部側には野外等で使用する際、雨の顔面側への進入を阻止するためのレインパイザー5が設けられていることにある。

【0010】

【作用】 上記請求項1記載のゴーグルを使用する場合は、顔面にゴーグル本体1を装着して医療用、又は各種作業で使用する、装着体2部分よりゴーグル本体1内部への通気性が富んでいるために、汗をかいた状態でも快適な状態で使用することができる。また使用後は、装着体のみを取り外して新しい装着体2を付け替えて再度使用することができることとなる。また、装着体2が通気性に富んでいるために例えば眼鏡を装着した状態でもレンズが曇ることなく使用することができる。

【0011】 また、請求項2に記載のゴーグルは、ゴーグル本体1の鼻に装着される部分には、鼻保護具3が設けられているため、ゴーグル本体1を装着した場合でも、ゴーグル本体1の重量が鼻保護具3にかかり、直接鼻への負担がないので、長時間ゴーグルを装着しても快適に使用することができる。

【0012】 また、請求項3のゴーグルは、ゴーグル本体1の外周上部側には、装着時にゴーグル面への紫外線等の光を遮光するための遮光体4が設けられているため

に、使用時は該遮光体4により紫外線を遮光して快適に使用することができる。

【0013】さらに、請求項4のゴーグルは、ゴーグル本体1の上部側に係入突片1cが設けられているために、遮光体4に設けられた孔に該係入突片1cを係入することにより、遮光体4をゴーグル本体1に固定して装着することができる。

【0014】また、請求項5のゴーグルは、係入突片1cが、ゴーグル本体1の装着方向に対向して一対設けられていることにより、ゴミ等が飛散しても該係入突片1cで阻止することができる。請求項6のゴーグルは、ゴーグル本体1、又は遮光体4の上部側には野外等で使用する際、雨の顔面側への進入を阻止するためのレインバイザー5が設けられているために、野外での作業時でも雨から顔面を保護した状態で使用することができる。

【0015】

【実施例】以下、本発明の実施例を図面に沿って説明する。図1～図2は、本発明のゴーグルの一実施例を示す。この図において符号1は、ゴーグル本体を示し、鼻部分にV字状の切欠部1aが形成され、上部側には空調用の孔1bが2か所形成されている。1cは前記孔1bの外周でゴーグル本体1の装着方向に対向して設けられた一対の係入突片で、前方から異物が飛んで来ても孔1bに進入するのを防止する。2は通気性に富んだスポンジ状の装着体で、額に当たる額用装着体2aと前方側の顔面に沿って設けられた顔面装着体2bとからなる。しかも、前記顔面装着体2bはゴーグル本体1の下方両側で回転自在に軸支され、これにより取り替え可能に構成されている。また、切欠部1aに沿って鼻を覆う形で突出した鼻保護具3が前記顔面装着体2bと一体的に設けられている。4は前記ゴーグル本体1の上部側から側面側に沿って取り付けられた遮光体で、該遮光体4の先端部分が角度調整可能に取り付けられている。4aは前記遮光体4に形成された孔で、前記係入突片1cを係入するとともに、前記額用装着体2aにより遮光体4を密着した状態で移動することなくゴーグル本体1に装着することができる。このためゴーグル本体1と遮光体4との間より塵埃の進入を阻止することができる。

【0016】次に、上記ゴーグル5を医療用として使用する場合について説明する。まず、医者は図3に示すように呼吸器系を保護するマスクを装着した後、顔面にゴーグル5を装着して治療する。この際、前記ゴーグル5には通気性に富んだスポンジ状の装着体2が設けられているために、例えば眼鏡を装着している場合であっても眼鏡がくもることなく快適な状態で治療することができる。とともに、もし血液等が飛液した場合でもゴーグル5と装着体2で顔面への直接の飛散を防止することができる。しかも、装着体2は着脱自在であるために、該装着体2のみを取り外すことで、簡易に取り替えできるので

衛生的に、且つ再度の使用が容易である。

【0017】また、遮光体4により治療中にゴーグル5に入射する蛍光灯等の光を適切に遮光して光を気にすることなく、快適に使用することができる。

【0018】尚、上記実施例では、ゴーグルを医療として使用したが、本発明のゴーグル5の使用は医療用に限定されるものでなく、例えば、自転車にのる際、実験用、或は工事現場等の作業用の目の保護用として使用することも可能である。特に、コンタクトレンズを使用した状態での作業の場合、塵埃を気にすることなく使用することができる。また、眼鏡をかけた人が使用する場合も眼鏡を保護するとともに、装着体2の通気性によりレンズ面が曇ることなく使用することができることとなる。

【0019】また、上記実施例では、ゴーグル本体1には、遮光体4が設けられてただけであったが、図4に示すように、雨の日には該ゴーグル本体1の遮光体4の上部にレインバイザー6を装着して、野外での使用時にレインバイザー6として使用することが可能である。この際、レインコートと併用して使用すると自転車に乗った際でも、顔面を完全に保護した状態で使用することができる。

【0020】

【発明の効果】従って、本発明によるゴーグルは、顔面の目の部分を覆うとともに、装着体が着脱自在であるために、衛生的であり、且つ使用後の処理が簡易であるために、特に医療用として使用する場合に適することとなる。しかも、ゴーグルの上部側に紫外線等の遮光体を設けることで、光を遮光し光を気にすることなく、快適に使用することができるので精度の高い作業や、医療用としての使用に適することとなる。また、遮光体の上部にレインバイザーを装着することで、雨の日顔面を完全に保護した状態で使用することができ、このため、例えばレインコートと併用することでより、快適に使用することができ雨天での作業に効果的に使用することができることとなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】は、本発明のゴーグルの一実施例を示す斜視図。

【図2】は、図1の断面図を示す。

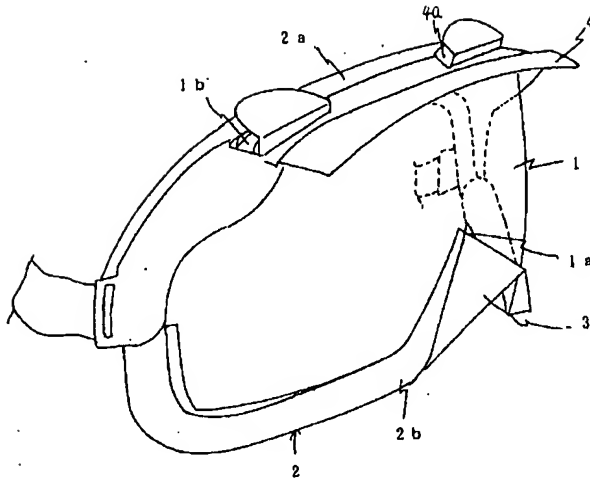
【図3】は、使用状態を示す側面図。

【図4】は、レインバイザーを示す側面図。

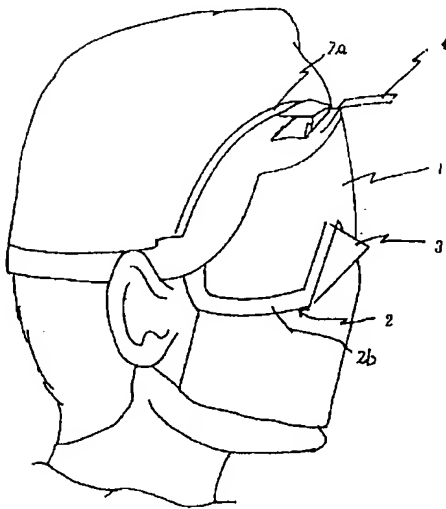
【符号の説明】

- 1…ゴーグル本体
- 1c…係入突片
- 2…装着体
- 3…鼻保護具
- 4…遮光体
- 6…レインバイザー

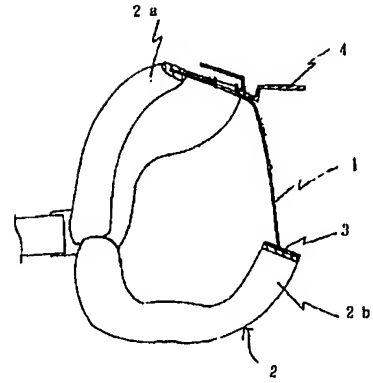
【図1】



【図3】



【図2】



【図4】

